



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎
 問合せ先責任者(役職名) 管理部長 (氏名) 種子田 浩市 (TEL) 099-273-3859
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,299	8.8	355	△0.6	389	2.3	200	16.0
29年3月期第2四半期	6,706	6.8	358	△14.1	380	△12.7	172	△25.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 226百万円(20.4%) 29年3月期第2四半期 187百万円(△13.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	42.51	—
29年3月期第2四半期	36.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,366	6,214	46.5
29年3月期	12,240	6,044	49.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 6,214百万円 29年3月期 6,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,560	9.1	611	44.3	644	28.7	366	66.9	77.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	4,746,000株	29年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	40,889株	29年3月期	40,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	4,705,111株	29年3月期2Q	4,705,111株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、政府や日銀による積極的な経済・金融政策により、雇用環境の改善や所得の増加など長期にわたる景気回復の状況にあります。また、企業の業況判断や景気動向指数をみても引き続き改善の状況が続いております。

ただし、消費者マインドの基調判断は、ほぼ横ばいの状況が続いており、個人消費については、暮らし向きや収入の増え方などに関する消費者意識の低迷に表れているように、力強さを欠いた状況となりました。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、主原料（魚粉・小麦粉・大豆等）の価格は総じて高止まりで推移しているほか、消費者の低価格志向は根強く、企業間の価格競争が続く厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループでは、「企業収益力の向上」、「生産力・販売力の強化」、「研究開発の強化」、「マネジメントの改革」に取り組んでまいりました。

具体的には、「企業収益力の向上」では、全社を挙げて経費の見直しに着手いたしました。「生産力・販売力の強化」に関しては、食品部門・水産部門の両部門において、海外販路の拡大に努めました。また、「研究開発の強化」では、食品部門におけるラーメン新製品「こく旨豚骨ラーメン・あっさり豚骨ラーメン」販売開始や水産部門における「ウナギ及びマグロ用の配合飼料」開発などに取り組んでおります。「マネジメントの改革」では、経理部門と人事部門のシステム更新による、両部門の厳正化や合理化に取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高72億99百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益3億55百万円（前年同期比0.6%減）、経常利益3億89百万円（前年同期比2.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億円（前年同期比16.0%増）と増収増益になりました。

セグメント別の業績を示すと次のとおりです。

①水産事業

主力のエビ飼料類は、取引先の中には規模縮小を行う先もありましたが、国内の養殖環境は総じて良好で、種苗用飼料、育成用飼料ともに堅調な状況が続いております。また、海外向けに関しても、海外事業部開設による販売強化の成果も表れ、当社の種苗用飼料の品質の高さが再評価され前年同期を上回りました。

魚飼料類は、ハマチ類に関しては、一部赤潮の被害などもあり在池尾数の減少はありましたが、受託数量は確保でき堅調な推移となりました。マダイ飼料類は、良好な相場による出荷増に伴う取引先の在池尾数の減少があり前年同期を下回りました。

子会社では、永屋水産株式会社の取扱高が前年対比11.2%増と堅調に推移しております。

その結果、売上高は49億28百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は4億28百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

②食品事業

食品事業では、主力の皿うどん類や即席めん類、カップ類及びラーメン類は順調に推移しました。うどん類、そば類及びそうめん類は前年同期を下回りました。

子会社では平成28年7月に子会社化した株式会社なかしまの業績が第2四半期分に関して寄与しています。

その結果、売上高は23億70百万円（前年同期比16.0%増）、セグメント利益は1億61百万円（前年同期比29.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ11億25百万円増加し133億66百万円となりました。主な要因は、季節的要因により受取手形及び売掛金が14億76百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比べ9億56百万円増加し71億52百万円となりました。これは、主として買掛金が7億円増加、短期借入金が6億69百万円増加、長期借入金が3億32百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ1億69百万円増加し62億14百万円となりました。これは、主として利益剰余金が1億43百万円増加、その他有価証券評価差額金が26百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの売上高は、第1四半期連結会計期間より第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間の割合が高くなる季節的変動があります。また、連結業績予想につきましては、平成29年5月16日に公表しました「平成29年3月期決算短信」における業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,575,417	1,917,132
受取手形及び売掛金	1,621,062	3,097,427
商品及び製品	464,502	500,835
仕掛品	143,098	132,595
原材料及び貯蔵品	1,065,557	1,013,488
その他	162,333	295,026
貸倒引当金	△11,801	△13,627
流動資産合計	6,020,171	6,942,877
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,370,001	1,386,374
機械装置及び運搬具(純額)	795,264	777,439
土地	2,100,777	2,108,625
その他(純額)	349,453	412,267
有形固定資産合計	4,615,498	4,684,706
無形固定資産		
のれん	508,056	456,900
その他	42,306	52,093
無形固定資産合計	550,363	508,994
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,095,296	1,270,729
貸倒引当金	△40,774	△40,774
投資その他の資産合計	1,054,522	1,229,954
固定資産合計	6,220,384	6,423,655
資産合計	12,240,555	13,366,532

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	734,874	1,435,327
短期借入金	1,511,392	2,180,642
未払法人税等	164,062	159,100
賞与引当金	136,887	150,419
その他	491,520	403,461
流動負債合計	3,038,736	4,328,951
固定負債		
長期借入金	2,339,586	2,007,127
役員退職慰労引当金	448,984	461,114
退職給付に係る負債	84,440	83,426
その他	284,233	271,564
固定負債合計	3,157,243	2,823,232
負債合計	6,195,980	7,152,183
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	4,911,851	5,055,395
自己株式	△28,968	△28,968
株主資本合計	5,945,182	6,088,726
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,392	125,622
その他の包括利益累計額合計	99,392	125,622
純資産合計	6,044,575	6,214,349
負債純資産合計	12,240,555	13,366,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,706,669	7,299,080
売上原価	5,233,368	5,791,821
売上総利益	1,473,300	1,507,259
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	206,751	230,199
貸倒引当金繰入額	—	1,826
給料及び賞与	244,619	259,714
賞与引当金繰入額	48,901	57,243
退職給付費用	9,358	10,119
役員退職慰労引当金繰入額	10,330	12,130
その他	595,323	580,321
販売費及び一般管理費合計	1,115,283	1,151,555
営業利益	358,016	355,703
営業外収益		
受取利息	972	1,350
受取配当金	2,699	4,937
補助金収入	—	17,287
雑収入	46,961	21,604
営業外収益合計	50,633	45,180
営業外費用		
支払利息	9,488	8,937
為替差損	16,169	1,263
雑損失	2,137	920
営業外費用合計	27,795	11,121
経常利益	380,854	389,762
税金等調整前四半期純利益	380,854	389,762
法人税、住民税及び事業税	169,151	159,511
法人税等調整額	39,302	30,245
法人税等合計	208,453	189,757
四半期純利益	172,401	200,005
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	172,401	200,005

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	172,401	200,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,662	26,230
繰延ヘッジ損益	1,771	—
その他の包括利益合計	15,434	26,230
四半期包括利益	187,835	226,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,835	226,235
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,662,296	2,044,372	6,706,669	—	6,706,669
セグメント利益	446,520	124,712	571,233	△190,378	380,854

(注) 1 セグメント利益の調整額△190,378千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費174,570千円、営業外収益4,586千円、営業外費用20,393千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,928,588	2,370,492	7,299,080	—	7,299,080
セグメント利益	428,394	161,456	589,851	△200,088	389,762

(注) 1 セグメント利益の調整額△200,088千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費196,477千円、営業外収益4,907千円、営業外費用8,519千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。